

# 9. スタイルシートと JavaScript を 組み合わせてみよう

## 【スタイルシートとは】

スタイルシートとは、タグのみでは実現不可能なデザインレイアウトやページ構造を実現する命令群です。主に、次の3つの書式があります。

### (1) インライン

タグ内部により詳細なデザインを組み込む書式です。

例：この部分は`<STRONG STYLE="background-color:#6699FF">背景色</STRONG>`が表示されます  
→ `<STRONG>`タグに`#6699ff`という背景色を設定しています。

### (2) `<STYLE>`タグ

タグに設定するスタイルを一括して宣言します。

例：`<STYLE>`

```
body{background-color:black;}
font{color:white;}
</STYLE>
```

→ `<BODY>`タグと、`<FONT>`タグにそれぞれスタイルを設定しています。この宣言以降、`<BODY>`や`<FONT>`タグを使うと、とくに属性を設定しなくとも`<BODY>`は Black に、`<FONT>`は白に表示されます。

### (3) 外部ファイル

外部にスタイルを指定したテキストファイルをつくり、それを読み込むタイプです。

外部ファイルを使うと、何百ページあってもデザインを一元管理できるので、デザインを変更するときはその外部ファイルを書き換えるだけですべてのページのデザインを変更することが可能です。

例：`<LINK REL=STYLESHEET HREF="master.css">`

→ このタグが書かれている HTML ファイルに `master.css` というテキストファイルに記述されているスタイルが反映されます。

## 【同じタグには】

スタイルを使っていると、同じタグにいくつもの書式(スタイル)を設定したくなります。

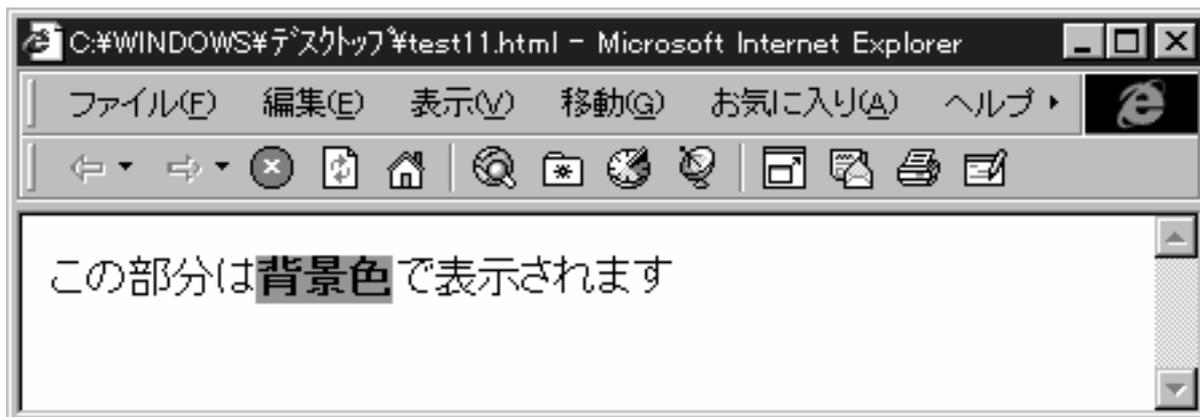
その際には、`class` というオプションを活用します。

```
<STYLE>TD.a{font-size:16pt;font-family:MS 明朝;} TD.b{font-size:14pt;}</STYLE>
<TD class=a>神奈川</TD><TD class=b>横浜</TD>
```

このような記述ですと、神奈川、横浜それぞれ違うスタイルが適用されることになります。

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題1】「背景色」という文字列の背景をちょっと青っぽい色(#6699FF)で表示するHTMLを作成せよ。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test11</TITLE></HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
この部分は<STRONG STYLE="background-color:#6699FF">背景色</STRONG>が表示されます
</BODY>
</HTML>
```

【問題2】「24pt・太字」という文字列が24ptで太字で表示されるHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test12</TITLE></HEAD>
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
この部分は<B STYLE="font-size:24pt">24pt・太字</B>が表示されます
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題3】「24pt」という文字列を 24pt で表示して、自動的に改行されるHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test13</TITLE></HEAD>  
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">  
この部分は<DIV STYLE="font-size:24pt">24pt</DIV>で表示されます  
</BODY></HTML>
```

【問題4】「24pt」という文字列を 24pt で表示して、改行されないHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test14</TITLE></HEAD>  
<BODY BGCOLOR="#FFFFFF">  
この部分は<SPAN STYLE="font-size:24pt">24pt</SPAN>で表示されます  
</BODY></HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題5】「この部分は白文字・黒背景で表示されます」という文字列の背景が黒く、文字は白く表示されるHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test15</TITLE></HEAD>
<BODY STYLE="background-color:rgb(155,200,155)">
<CENTER>
<P STYLE="background-color:#000000">
<SPAN STYLE="color:white">この部分は白文字・黒背景で表示されます</SPAN>
</CENTER>
</BODY></HTML>
```

【参考】

・タグ型の表記方法

```
<HTML><HEAD><TITLE>sample</TITLE>
<STYLE>
<!--
    タグ名 { 属性 : 値 ; }
-->
</STYLE>
</HEAD>
<BODY>
<タグ名 >OOOO</タグ名 >
</BODY></HTML>
```



※ <STYLE>タグで定義したタグが本文で適用される。

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題6】スタイルシートの内容を<STYLE>タグで一括宣言するようなHTMLを作成せよ。表示内容は、背景が黒、文字列が白である。



```
<HTML><HEAD>
<TITLE>test16</TITLE>
<STYLE>
<!--
    body{background-color:black;}
    font{color:white;}
-->
</STYLE>
</HEAD>
<BODY>
<CENTER>
<FONT>この部分にはセレクタの内容が適用されます</FONT>
</CENTER>
</BODY></HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題7】スタイルシートを一括宣言し、文字列を、白・MS明朝、16PTで表示するHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test17</TITLE>
<STYLE>
<!--
    body{background-color:black;}
    font{color:white;font-size:16pt; font-family:MS 明朝;}
-->
</STYLE>
</HEAD>
<BODY>
<CENTER>
<FONT>この部分にはセレクタの内容が適用されます</FONT>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題8】文書のマージンをそれぞれ、上:48pt、右:48pt、左:8pt、下:8ptで表示するようなHTMLを作成せよ。



```
<HTML><HEAD>
<TITLE>test18</TITLE>
<STYLE>
<!--
    body{    background-color:gray;
            margin-top:48pt;
            margin-right:48pt;
            margin-left:8pt;
            margin-bottom:24pt;}

    font{color:black;font-size:9pt;font-style:italic;font-family:MS P明朝;}
//-->
</STYLE>
</HEAD>
<BODY>
<FONT>この部分にはマージンの内容が適用されます。どれくらい適用されてるのかな。どうなんだろうね。秀吉。この部分にはマージンの内容が適用されます。どれくらい適用されてるのかな。どうなんだろうね。秀吉。</FONT>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【参考】スタイルシートでは外部ファイルを読み込んで、統一したレイアウトをサイト単位で行うとう効率的である。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test19</TITLE>
<LINK REL=STYLESHEET HREF="master.css">
<STYLE TYPE="text/css">
<!--
// master.css はこのように表記されています
//     body{background-color:gray;}
//     font{font-family:"Times New Roman";}
//     .htaccess に TYPE="text/css"と mime タイプを追加します。
//     ここからはこのファイルだけのスタイルです
//     H1{color:red;}
//---->
</STYLE>
</HEAD>
<BODY>
<H1>外部ファイルの例。</H1>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題9】IDオプションを使って、「背景変更」ボタンを押すと文字列の背景が赤になり、「元に戻す」ボタンを押すと元に戻る、HTMLを作成せよ。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test21</TITLE>
<STYLE TYPE="text/css">
<!--
      #text1{font-size:16pt;font-family:MS 明朝;}
//-->
</STYLE>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
function henkou(){
    text1.style.background="red";
}
function modosu(){
    text1.style.background="white";
}
//-->
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY>
<SPAN ID='text1'>IDの例。CLASS オプションはきかないよ。(^^;</SPAN>
<FORM>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="背景変更" onClick='henkou()'>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="元にもどす" onClick='modosu()'>
</FORM>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題10】IDオプションを使って、「消去！」ボタンを押すと文字列が消え、「出現」ボタンを押すと元に戻る、HTMLを作成せよ。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test22</TITLE>
<STYLE TYPE="text/css">
<!--
      #text1{font-size:16pt;font-family:MS 明朝;}
//-->
</STYLE>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
function henkou(){
      text1.style.visibility="hidden";
}
function modosu(){
      text1.style.visibility="visible";
}
//-->
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY>
<SPAN ID='text1'>消えます、消えます。</SPAN>
<FORM>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="消去！" onClick='henkou()'>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="出現" onClick='modosu()'>
</FORM>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

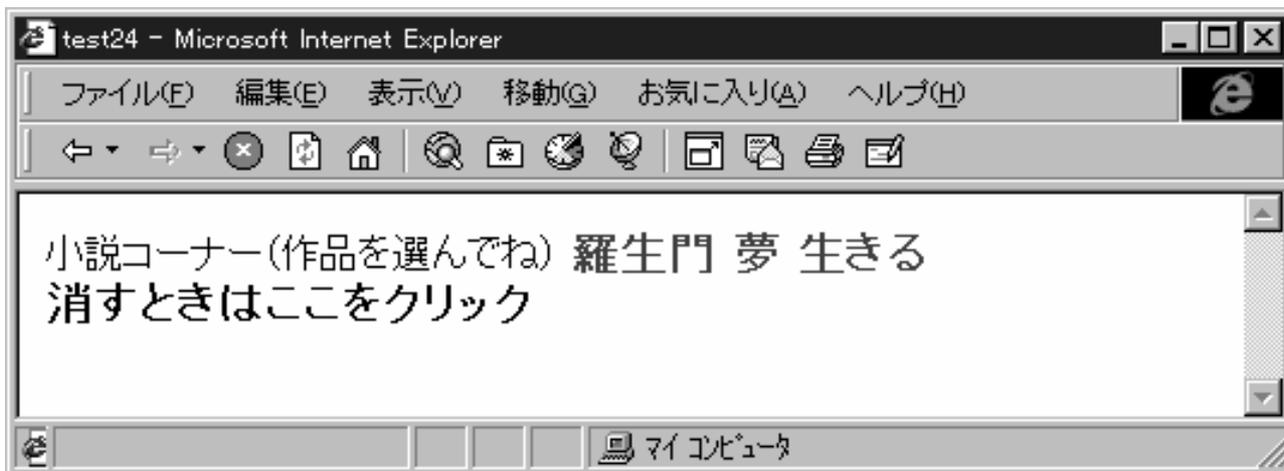
【問題11】IDオプションを使って、「消去！」ボタンを押すと文字列が消え、「出現」ボタンを押すと元に戻る、HTMLを作成せよ。ただし、function は1度しか使ってはいけない。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test23</TITLE>
<STYLE TYPE="text/css">
<!--
      #text1{font-size:16pt;font-family:MS 明朝;}
//-->
</STYLE>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
function henkou(c){
      text1.style.visibility=c;
}
//-->
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY>
<P ID='text1'>消えます、消えます。</SPAN>
<FORM>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="消去！" onClick='henkou("hidden")>
<INPUT TYPE="BUTTON" VALUE="出現" onClick='henkou("visible")>
</FORM>
</BODY>
</HTML>
```

■よしだの教材ドットコムオリジナル教材

【問題12】「小説コーナー」という文字列をクリックすると、リンクが表示され、それらを押すとジャンプする。またその表示される文字列の中には「消すときはここをクリック」という文字列も表示され、それを押すとそのリンク(文字列)は消える。そんなHTML文書を作成しなさい。



```
<HTML><HEAD><TITLE>test24</TITLE>
<STYLE TYPE="text/css">
<!--
      #text1{font-size:14pt;visibility:hidden;font-weight:bold;}
//-->
</STYLE>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
function henkou(c){
      text1.style.visibility=c;
}
//-->
</SCRIPT>
</HEAD>
<BODY>
<SPAN onClick='henkou("visible")>小説コーナー(作品を選んでね)</SPAN>
<SPAN ID='text1'>
<A HREF="/rashou.html"> 羅生門</A>
<A HREF="/yume.html"> 夢</A>
<A HREF="/ikiru.html"> 生きる</A><BR>
<SPAN onClick='henkou("hidden")>消すときはここをクリック</SPAN>
</SPAN>
</BODY>
</HTML>
```